

サンフロント21 懇話会

〒410 沼津市魚町1番地
-8560 サンフロント5F
静岡新聞社・静岡放送
東部総局内
事務局
TEL 055・962・6520

2014.1.24 No.99



静岡新聞社・静岡放送会長

松井 純

サンフロント21懇話会は今年、設立20年目を迎えます。このように長期間、活動を継続できるのは会員皆様のご支援、ご協力のおかげです。あらためまして感謝

申し上げます。ありがとうございます。

安倍政権は特定秘密保護法や消費税増税など暮らしにかかわる重要法案の成立に向け、数の多さを背景に一直線に進んでいます。国民の知る権利や表現の自由が奪われ、さらには家計への負担が増すことがないように願うばかりです。

さて、懇話会活動の基盤となる会員数につきましては、会員皆様にご支援とご協力を頂戴し、常時300人台を維持しています。加入していただいた方々とともに、入会にご尽力いただいた方々に、あらためて感謝を申し上げ、皆様方のこの1年のさらなる飛躍をお祈りします。



サンフロント21懇話会代表幹事
スルガ銀行社長

岡野 光喜

会員皆様には今年もそれぞれのお立場で、ご健勝、ご活躍をお祈りします。

懇話会活動は今年20年目になります。知恵とアイデア

を結集し、県東部の活性化を前進させましょう。

3年前、川勝平太知事に提言させていただいた「人と動物の未来センター」構想は沼津市西浦で始動しました。2015年度の設立20周年記念事業に位置づけたいと思います。

アベノミクスによる経済政策は中小企業が景気回復を実感できてこそ本物です。地域経済の動向を注視しなければなりません。3月で発生3年になる東日本大震災の教訓を踏まえ、広域防災を改めて考えてみたいと思います。課題は山積しています。ご支援、ご協力を切にお願いします。

新年のご挨拶



静岡県知事

川勝 平太

明けましておめでとうございます。

昨年、静岡県に、世界文化遺産「富士山」と世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の2つの世界遺産が誕生しました。また、「和食 日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産への登録が決定したことは、「茶の都」「食の都」である本県にとって、さらなる飛躍への追い風となるでしょう。さらにはユネスコエコパークに登録申請された南アルプス、伊豆半島ジオパーク、東海道のオアシスである浜名湖、世界文化遺産候補の韮山反射炉など本県が世界水準の「場の力」に恵まれた地域であることを改めて自覚した年でした。

「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」の指針である県総合計画を2011年2月に策定しま

した。その後、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震をはじめ、厳しい経済・雇用情勢、エネルギーを取り巻く環境変化など社会経済情勢は様変わりしています。

こうした変化に的確に対応し、「“ふじのくに”づくり」を着実に推進するため13年度内に新しい基本計画を策定し、14年度からスタートさせます。概ね10年間を想定した計画期間を前倒しして、2期目の任期中に「“ふじのくに”づくり」の総仕上げを目指します。

津波・地震などから県民の生命・財産を守ることを最優先課題とし、防災・減災と地域成長との両立を図る「内陸フロンティア」、富士山をはじめとする世界水準の魅力を活かした地域づくり、新成長産業の育成と雇用創造などに取り組み、「ポスト東京時代」を先導してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。



沼津市長

栗原 裕康

2014年の年頭にあたり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年は沼津駅北口に県の会議場と民間のホテルが完成します。昨年先行オープンした新キラメッセと駐車場を合わせた総合コンベンション施設「ブラサヴェルデ」が初夏にグランドオープンします。沼津市に大型コンベンション時代の到来です。

昨年は沼津駅の高架事業をめぐり、市民や利害関係者と意思疎通を図り、判断材料を得るP・I（パブリック・インボルブメント）が行われました。今年は事業の前進が期待されます。東名愛鷹PAと新東名駿河湾沼津SAのスマートインターチェンジ設置工事や沼川・高橋川の治水対策も進みます。大型商業施設の沼津進出の動きが顕在化しそうです。

ソフト面では中央公園での「沼津自慢フェスタ」の開催など市民との協働によるにぎわいづくりが着実に成果を上げています。

市民の皆様からは古き良き時代の沼津を取り戻してほしいという声が寄せられています。しかし私は時代の変化に合わせて沼津のまちをどうつくり変えていくかに努力したいと思います。例えば沼津駅周辺は、定住人口を増やすため、高齢者のライフスタイルに合った居住空間の創造や若者のニーズに合ったまちづくりを政策的に考えていきます。

防災・減災対策にも引き続き力を注ぎます。想定される大規模災害について市民が正しく知り、恐れ、「自分の身は自分で守る」を基本に万一に備えていただきたいと思ひます。

今年一年間の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶と致します。

われら 午年生まれ



午（ウマ）は生後1時間ほどで立ち上がり、数時間で駆け回ることができるため、「立ち上がり早い」「立身出世の象徴」と言われます。午生まれの人は愛情深く、朗らか、人望が集まるとされています。アベノミクスで景気に明るさが見え始めて迎えた2014年。幸多かれと願うとともに、午年生まれの会員の皆様に新年の抱負を寄稿していただきました。



株式会社三喜
代表取締役

小滝 すみ子

昭和17年1月2日生まれ

あけましておめでとうございます。

一日一日が早く通り過ぎて、新しい年を迎えることになりました。

回りの方々に支えられての一年間でした。本当に感謝しております。一番大切な「初心忘れず」にと、心がけ、今年も大好きな趣味（踊り）を楽しみながら仕事に頑張りたいと思っております。



下田市・賀茂郡
県議会議員

森 竹治郎

昭和17年6月8日生まれ

「老騎厩伏志在千里」（ろうき うまやにふせども ころろざし せんりにあり）。これは中国「三

国志」の魏の英雄曹操の詩です。私も少し年をとったといえども、今年も「志」を高くもって県勢の進展に努めてまいります。

地震や津波の心配もありますが、富士山世界遺産登録や東京オリンピック・パラリンピック2020年決定や来年夏には伊豆ジオパーク世界認定の動きなど明るい話題も出てまいりました。今年も皆様、力を合わせて頑張りましょう。



一般社団法人 三島市観光協会
会長

山形 武弘

昭和17年11月12日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は富士山が世界文化遺産に登録され、伊豆地方の宿泊客が増えたと聞いております。

今度は、韮山の反射炉が世界文化遺産に推薦されております。

私達三島市も伊豆の玄関口として精いっぱい応援して行きたいと思っております。

平成27年末には箱根西麓に日本一の吊橋が出来るとなっております。地域の皆様方の応援よろしくお願いいたします。



県賀茂農林事務所
所 長

山本 修

昭和29年1月8日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

今年が5回目の年男ということで、十千十二支でみると振り出しに戻りました。

ということで、今年も心機一転、新たな挑戦の年として、「前向きに」を常に心掛けていきたいと考えています。でも駿馬のように走れませんので、転ばないように一歩ずつ着実に歩を進めていくつもりです。



県富士農林事務所
所 長

塩坂 幸信

昭和29年1月18日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

今年も午年、私はまさに馬齢を重ね、とうとう還暦となり、同時にこの3月末をもって県職員を退職となります。

まずは、任期をしっかりと勤めあげ、これまでお世話になった多くの方々へ深く感謝しつつ静かに職場を去りたいと考えております。

今後は、いずれ迎える本当のエンドマークを意識しつつ、これまで以上に真摯（しんし）に生きるという事に向き合っていきたいと考えています。

今年が富土地域の農林業にとって明るい良い年でありますように願っております。



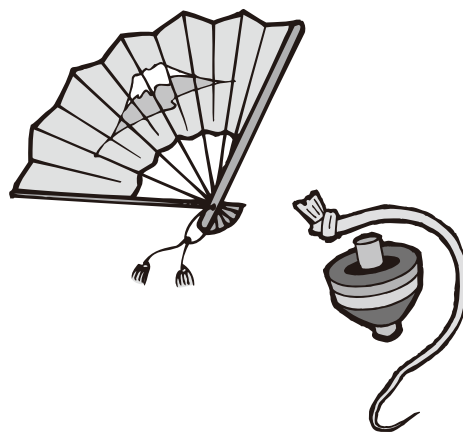
富士通株式会社沼津工場
工場長

三津濱 元一

昭和29年2月4日生まれ

新年、明けましておめでとうございます。

震災以降、工場の事業継続の延長で、高台にある地の利と自家発電機、井戸等を活かした災害時の地域避難場所も意図している。近隣との協議から兼業農家が多く、食料備蓄があるとのこと。相互協力が、地域の絆に繋がればと。



株式会社マキヤ
代表取締役社長

川原崎 康雄

昭和29年3月30日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

早いもので今年「還暦」を迎えさせて頂くことになりました。お陰様で、今日まで健康と家庭と

仕事に恵まれて暦を一巡させて頂くことができ、今日までお世話になった人と物と事に心から感謝申し上げる次第です。

先輩からの言葉「企業経営には、次から次に対処すべき課題が浮上するものだが、それに怯(ひる)むことなく自らの強みを磨き続ける。」を胸に、感謝と歓喜の心で少しでも社会に貢献できるように努力してまいる所存です。



飯田工業薬品株式会社
代表取締役社長

飯田 悦郎

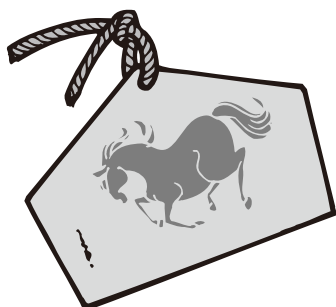
昭和29年4月3日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

弊社は大正4年(1915年)に富士の地で創業して以来、地域の産業の発展とともに業歴を重ねてまいりました。来年2015年には創業100年を迎えることになり、これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と深謝申し上げます。

さて、個人的には社長として20年が過ぎ、今年が還暦になるという事が自分自身全く信じられず、果たして経た年月に相応しい人間になっているのかは、はなはだ疑問ではありますが、自分の人生訓でもある「常に向上心を失わない」を肝に銘じ「Young at heart」で努力していく所存でございます。

なにとぞよろしく願いいたします。



株式会社ホテル銀水荘
代表取締役

加藤 昌利

昭和29年4月7日生まれ

あけましておめでとうございます。

60歳という大きな節目の年を迎えました。自身の60年を振り返り、これからの人生を楽しく、そして精神的に豊かな生活ができるよう努力していきたいと考えております。

我々、旅館業界を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがありますが、富士山の世界文化遺産登録や東駿河湾道路の伊豆修善寺地区までの開通、また圏央道、厚木八王子間の併用開始等、伊豆への交通アクセスの改善も本年度中に成されます。伊豆の観光にとって「午」のように躍動感のある年になることを期待しております。



下田市長

楠山 俊介

昭和29年6月4日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

本年「午男・年男」であります。公人として、上手な騎乗の要素「一に心、二に手綱、三に鞭、四に鎧」を理解し「優駿」と「輓馬」の強さを目指します。

私人として「馬肥ゆる」も過ぎていきますので改善していきます。



県東部農林事務所
所 長

石戸 安伸

昭和29年8月20日生まれ

あけましておめでとうございます。

昨年は、富士山の世界遺産登録に続き、年末には和食が無形文化遺産として登録されました。今年には和食に力を入れた動きが活発になってくると思います。

県東部地区は農林水産物の品質が高く、種類も豊富です。和食文化を活用した新たな食の展開を進め、東部地区の農林水産業が益々発展するよう努めてまいりたいと考えております。

本年もよろしく願いいたします。



佐野新聞店
代表取締役社長

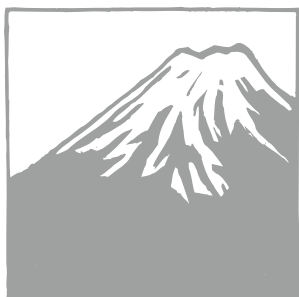
佐野 正幸

昭和29年9月25日生まれ

明けましておめでとうございます。

さて、今年もわが業界は厳しそうですが大半の業界も同じ訳で自分だけ悲観することはありません。何より大切なのは多くの方が知恵を出し共有し実行する少しの勇気を持つことが肝要だと思います。

今年は良い夢を見たいものです。



野村證券株式会社沼津支店
支店長

日比野 勇志

昭和41年10月11日生まれ

新年明けましておめでとうございます。

昨年はアベノミクスによる株価や為替レートの大幅な上昇、2020年の東京オリンピックの開催決定、地元においては富士山の世界文化遺産への登録など明るい話題がたくさんありました。今年には昨年からのこのトレンドの変化を、本当の意味での日本の復活へと結びつける重要な一年になると考えております。

小額投資非課税制度も始まり、貯蓄から投資へという流れを作りながら、地域の経済活性化のために全力で走り続ける所存でございます。

皆様、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



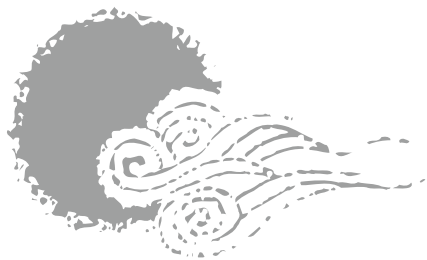
住友生命保険相互会社沼津支社
支社長

永橋 克介

昭和41年3月6日生まれ

あけましておめでとうございます。

昨今は、政治・経済・自然の猛威など、予測の難しい日々が続いています。晴れのち大雨の日もあれば、竜巻に襲われることも他人ごとではなくなりました。そんな……明日のこともわからない時だからこそ、明るい未来を信じ、希望をもって、今という1日1日を精いっぱい輝いて生きたい!! そんな思いで、年男の1年を駆けてまいります。私どもの職員ともども引き続きのご愛顧をよろしくお願い致します。



株式会社 JTB中部沼津支店
支店長

萩原 仁

昭和41年6月30日生まれ

私はいわく付きの「丙午」です。次回の年男は生誕以来の丙午で迎えることとなります。12年後の自分に思いを馳(は)せながら、「進化する50代」を駆け抜けていきたい。

「なせばなる なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」。大好きな言葉を改めて心に刻み直し、新年を迎えたいと思います。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



株式会社ブレーン
取締役社長室 室長

太田 克彦

昭和53年1月31日生まれ

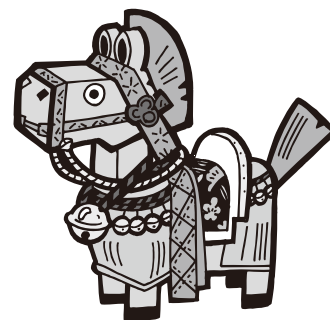
あけましておめでとうございます。

これからのあるべき広告の形、求められる広告の形はなんなのか。

広告業だけではないかもしれませんが、頭の中が常に新鮮でなければちょっとした事で時代に取り残されてしまいます。

広告は消費者と企業をつなぐ歯車のようなものです。

噛(か)み合わない、回らない、そんな存在にならないよう日々新しい刺激と経験を積み上げていきたいと思います。



サンフロント21懇話会の会員情報

■新たに入会された方

◇(有)松韻

・代表取締役社長

伊丹 秀之

■会員の変更

◇熱海商工会議所

・会 頭

鶴沢 精一 → 会 頭 内田 進

◇(株)静岡伊勢丹

・代表取締役社長

鎌形 秀昭 → 代表取締役社長 浅田 徹

◇沼津信用金庫

・理事長

堀田 大洋 → 相談役

◎政権の浮沈かかる4課題 安倍首相、正念場に



共同通信社 政治部長

鈴木 博之

政権復帰後2度目の正月を迎えた安倍晋三首相は今年1年、政権の浮沈がかかった4つの課題に次々と対処していくことになる。

4月から消費税率が5%から8%に引き上げられる。増税が景気にもたらす影響を最小限にして「アベノミクス」への信認を維持しなくてはならない。経済情勢が悪化すれば、特定秘密保護法の強行成立で陰り始めた内閣支持率がさらに低下しかねない。1月召集の通常国会では大きな論戦テーマになるはずだ。

次に挙げられるのは、原発再稼働への対応だ。現在、稼働中の原発はない。早ければ今春に一部原発を再稼働させるかどうかの判断が迫られる。燃料費高騰や環境対策を理由に再稼働を決断したとしても、「脱原発」を主張する小泉純一郎元首相に代表される世論の強い反発を受ける可能性がある。

貿易自由化を目指す環太平洋連携協定（TPP）交渉も難題だ。参加国間で最終合意に達した場合でも、国会の承認に手間取る事態が予想される。ごり押しすれば、農家ら自民党の“票田”を失いかねない。

集团的自衛権を行使できるようにする憲法解釈変更も今年後半には政治日程に乗ってくるのではないかと。「安倍カラー」が最も濃い政策と言える。だが公明党の抵抗は必至で、連立与党内の対立が激しくなるかもしれない。

安倍首相にとってまさに正念場の1年になりそうだ。

◎真価問われるアベノミクス 消費増税が最大の難所に



時事通信社 経済部長

境 克彦

政権交代でようやく転機をつかんだ日本経済にとって、2014年は正念場の年になる。最大の難所は4月の消費税率引き上げだ。ここをうまく乗り切り、消費の拡大→企業業績の改善→投資・賃金の増加→消費の拡大という好循環を民需主導で持続できるのかどうか。安倍政権の経済政策「アベノミクス」は真価を問われることになる。

資金供給量の倍増という異次元の金融緩和と機動的な財政出動は世の中の空気を一変させ、大幅な円安・株高をもたらした。消費税増税をにらんだ駆け込み需要の反動で、4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は年率換算でマイナス5%前後の落ち込みが避けられそうにないが、13年度補正予算の執行や外需が下支えし、夏場以降は緩やかに回復すると見込まれている。

ただし、アベノミクスの行く手には不安材料も残っている。金融緩和と財政出動はカンフル剤にすぎず、第3の矢である成長戦略の実行力に疑問符が付けば、株式市場で海外投資家の失望売りを招きかねない。政権が最も懸念するのは増税後の賃金の伸びだ。業績が回復した大手企業のトップからは賃上げに前向きな発言も出ているが、産業界全体に広がるには時間がかかるだろう。

増税の影響を除く消費者物価上昇率は、円安効果の一巡で14年中は小幅なものにとどまり、デフレ脱却は道半ばの状況が続きそうだ。日銀は「2年で2%」という物価目標の見直しを迫られるか、追加緩和に踏み切る可能性がある。